












SEAMASTER

DIVER 300 M QUARTZ 36.25 MM
ステンレススチール & ステンレススチール

キャリバー
1538

212.30.36.61.01.001

-  クォーツ
-  タイムゾーン機能
-  バッテリー消耗インジケーター
-  サファイアクリスタルガラス
-  無反射コーティング
-  ネジ込み式リュウズ
-  ヘリウム・エスケープバルブ
-  国際2年保証
-  30気圧(300m/1000feet)防水

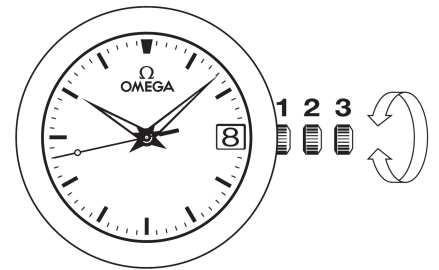


機能

リュウズは3つあります。

1. 通常位置（着用時）： リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。
2. タイム・ゾーン及び日付の修正： リュウズを2の位置に引き出し、6時側又は12時側へ回します。時針は一時間単位でジャンプし前進・後退します。時針が真夜中を通過すると、日付が連動します。リュウズを再び1の位置に押し戻します。
3. 時刻（時・分・秒）の設定： リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し現在時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

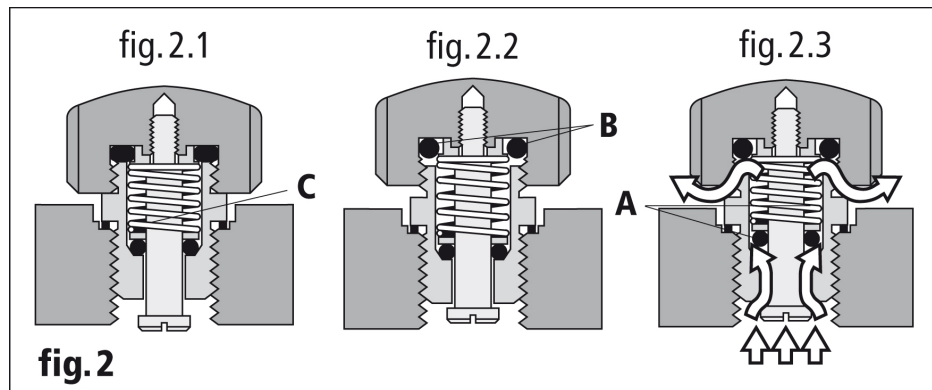
バッテリーが消耗すると秒針が4秒単位でジャンプして知らせます。時計はその後数日作動しますが、出来るだけ早くオメガ指定サービスセンターにてバッテリーを交換してください。



ヘリウム・ エスケープバルブ

ヘリウム・ エスケープバルブの使用方法 (fig.2)

通常位置 (fig. 2.1) で、オメガ・ ヘリウム・ エスケープバルブはパッキンBにより完全防水性を保持していますが、ねじ込まれているためエスケープバルブとしては機能しません。



圧力低減過程で、このメカニズムを機能させるには、エスケープバルブのリユウズをゆるめます (fig. 2.2)。ここで弁は外側からは防水性となります。内圧が外圧より高くなると、パッキンAが押され、密閉状態が解除され、ガスが逃げます (fig. 2.3)。一旦圧力が解放されると、パッキンAはスプリングCにより元の位置に押し戻されます (fig. 2.2)。

この動作は、圧力低減過程で自動的に数回繰り返されます。大気圧に達したら、エスケープバルブのリユウズをねじ込みます (fig. 2.1)。

備考：バルブのリユウズをねじ込むのを忘れても、時計の防水性は50m (5気圧) までは保たれます。しかし、完全な防水性はバルブのリユウズが再びねじ込まれたとき確保されます。